

〈対象地区や周辺の概況〉

- 上町台地の西端部に当たり、生玉公園の緑をはじめ、生國魂神社や大江神社などの緑などが連なって、まとまった緑が形成されている。
- 地区内を東西に走る道路は、「天王寺七坂」と呼ばれる坂道となっており、多くの社寺仏閣とともに、歴史的な景観を形成している。

〈土地利用現況〉

- 地区内は、複数の文教施設（神社・寺社・学校など）から構成されている。
- 地区の周辺では、商業施設、業務施設、宅地等が混在する。また、四天王寺、一心寺など、大規模な文教施設が立地している。

〈風致地区〉

- 地区の全域が、夕陽丘風致地区に指定されている（図面は3ページのとおり）。

〈景観計画〉

- 地区の全域が、「大阪市景観計画」における基本届出区域のうち、都心景観形成区域に含まれている。
- 地区の西側の松屋町筋に面した部分が「道路景観配慮ゾーン」に、その他の区域が「上町台地景観配慮ゾーン」に指定されている。



【地区の航空写真】



【土地利用現況※】



※Google Earth上で保全配慮地区の区域を重ねて表示

〈斜面のみどり〉

- 地区内を縦断する斜面上に豊かなみどりが残っている。



〈生玉公園〉

- 西側は斜面を活かした施設配置となっており、地形の起伏を感じることができる。
- 東側は樹木や休憩施設が配置され、オープンな広場空間となっている。



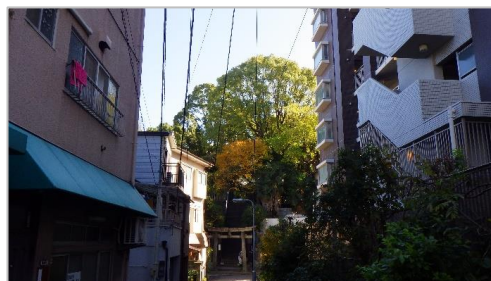
〈大江神社〉

- 敷地内に保全樹林があり、豊かなみどりを敷地外からも感じることができる。



〈安居神社〉

- 敷地外からも境内の大きな樹木を確認できる。



〈保存樹林（大江神社境内）〉

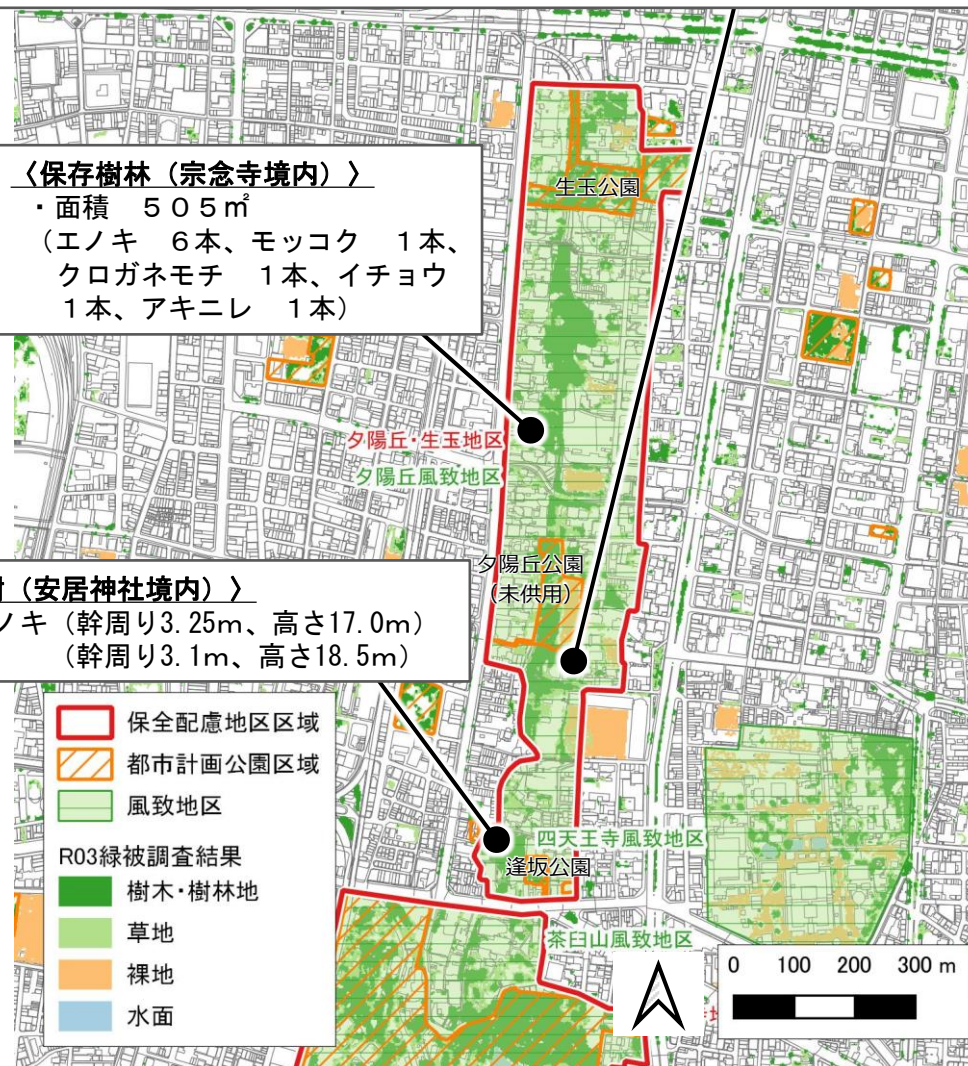
- ・面積 6,016㎡
(エノキ 11本、クスノキ 21本、ウバメガシ 2本、ムクノキ 19本、ヒマラヤスギ 1本、モチノキ 2本、カイズカイブキ 2本、イチヨウ 1本、ツキミ 1本、イチイ 1本、キリ 3本、ハゼ 1本、アラカシ 3本)

〈保存樹林（宗念寺境内）〉

- ・面積 505㎡
(エノキ 6本、モッコク 1本、クロガネモチ 1本、イチヨウ 1本、アキニレ 1本)

〈保存樹（安居神社境内）〉

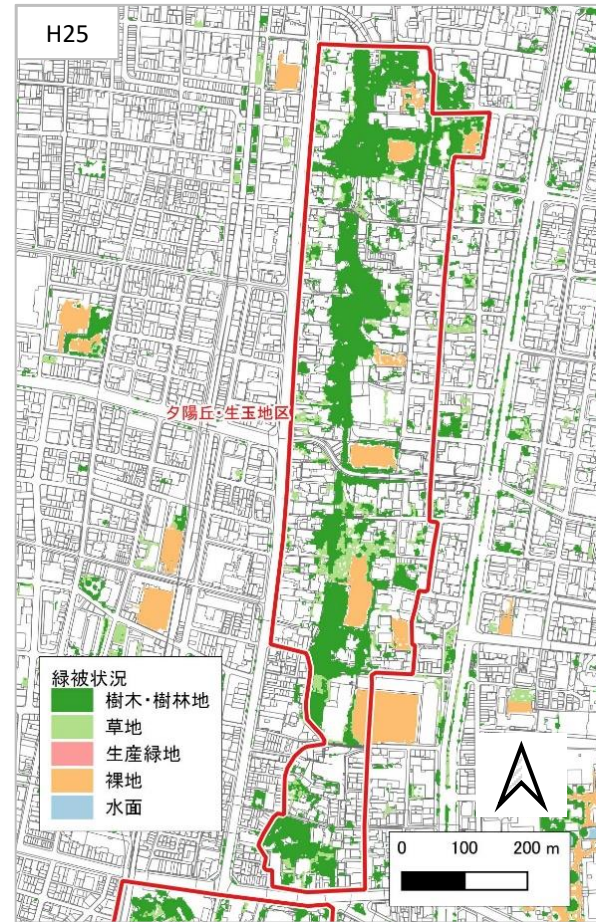
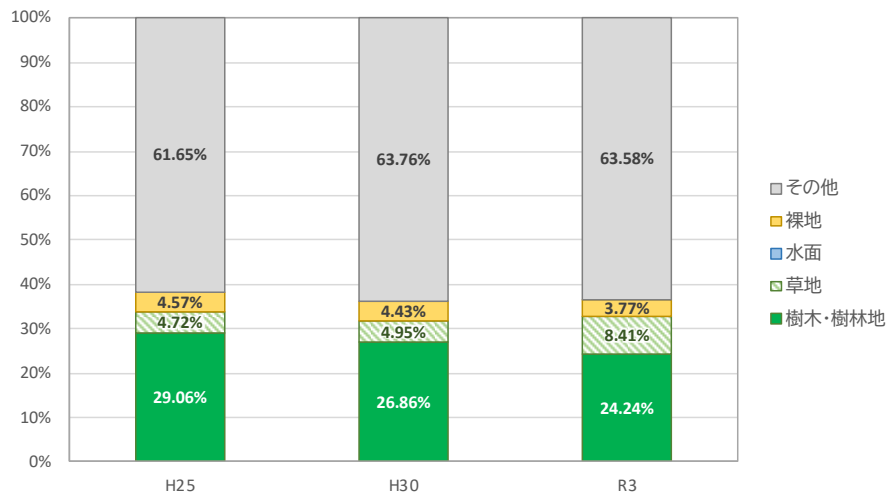
- ・クスノキ（幹周り3.25m、高さ17.0m）
- ・"（幹周り3.1m、高さ18.5m）



【みどり資源の位置図】

〈緑被の状況（H25～R3）〉

- 地区内の緑被率（樹木・樹林地、草地）は概ね30%程度で推移している。
- 内訳をみると、樹木・樹林地の面積が減少し、草地の面積が増加している。



〈地区の課題〉

① 樹木・樹林地の一体的な維持保全

…土地所有者が複数存在する中、樹木を健全に保つ維持管理や、開発圧に対する保全を、一体的に進めていくことが求められる

② 景観への配慮

…歴史的景観資源やまちなみ景観と調和した緑が求められる

③ 効果的な情報発信

…当該地区が保全配慮地区であると十分に認知されていないことも考えられるため、現地やWeb等での効果的な情報発信が求められる